

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化した場合、ホームでの生活は困難であることを口頭で説明しているが、ホームで出来る事・出来ない事の基準が明確化しておらず、職員間の共有も不十分である。	ホームで出来ない事、ホームでの生活が困難になり他施設等へ生活の場を変更して頂く事を明確にしマニュアル作成する。	ホームでの生活が困難になった場合のADL等を職員で話し合いマニュアル作成する。	6ヶ月
2	35	介護の手間を有する利用者が多い現状を踏まえ、火災以外の災害も想定した訓練や地域の協力者の役割が明確にできていない。	火災、地震、水害等を想定した訓練を地域の協力者を巻き込み一緒に行う。	地域の協力者をお願いし、一緒に避難訓練を行い、役割と現実的な方法を明確化する。	8ヶ月
3	30	受診は基本的には家族をお願いしているが緊急時には職員が送迎している。その間のホーム利用者へのサービスが低下する事態におちいつている。	家族の受診協力を得ながら、職員不足の解消、働きやすい職場作りを行いながら利用者へのサービスを低下させない。	受診協力を得るために家族への働きかけを行いながら、職員不足に陥らない為の働きやすい職場作りを全職員で行っていく。又、ボランティアを活用していく。	6ヶ月
4	40	介助が必要な利用者も多く、利用者はもくもくと食事をしており職員と一緒にとることは無くなっている。	会話が弾み楽しい食事がとれるよう職員も一緒に食事を摂れるようにする。	会話の弾む食事になるよう、職員一人でも一緒に食事できる環境を整える。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。